



発行：青葉保護司会
 青葉区更生保護女性会
 事務局：青葉区社会福祉協議会内
 〒225-0024
 青葉区市ヶ尾町1169-22
 TEL 045-972-8836
 FAX 045-972-7519
 印刷所：(有) 青史堂印刷

更生保護：立ち直りを支えるしくみ

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。



住居が必要

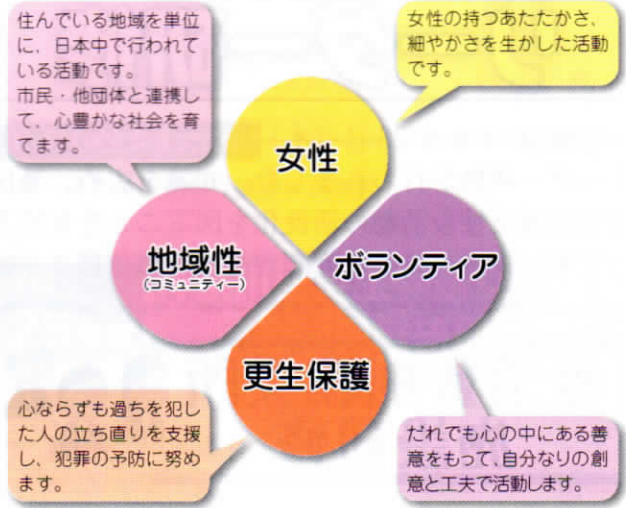
仕事が必要

地域との絆が必要



更生保護女性会のキーワード

更生保護女性会の活動は、4つのキーワードにあらわすことができます。



危険！ドラッグは買わない、使わない、かかわらない

薬物乱用防止キャンペーン

平成26年11月3日(月)文化の日に、青葉区民まつりが行われました。当日の天気も良く、今まで以上の来場者でした。

私達、神奈川県薬物乱用防止指導員協議会青葉支部も、青葉保護司会の応援を得て、キャンペーンを行いました。薬物乱用防止のリーフレット、風船、カット絆を配布しました。

会場では子供から大人まで多くの方が楽しんでいて、子供たちには風船が人気でした。中には、リーフレットを友達に配ってくれるという男の子達が、何度も来てくれました。

最近では、危険ドラッグの使用による、いたましい事件が後を絶ちません。危険ドラッグは「合法ドラッグ」「合法ハーブ」などと称して売られ、大変危険です。



今、世間を騒がせているので、皆さんの関心もあるでしょう。危険ドラッグのリーフレットは、たくさんの方が受け取ってくれました。

これから私達指導員は、子供たちに、そして親御さん達に、ドラッグ、または薬物についての怖さを知ってもらうように、活動を続けていかなければならないと思っています。

吉村実千代

千葉刑務所施設研修

平成 26 年 6 月 9 日（月）施設研修が行われました。

千葉刑務所は明治 6 年寒川未決監、既決監が設置され、庁舎は明治 40 年竣工、赤レンガ造りのイタリア式洋風建築物です。成人男子受刑者の収容施設で、定員 1342 名で犯罪傾向の進んでいない刑期 10 年以上の人で、現在 1050 名が収容されています。外国人も多いと担当者より説明を受け、その後施設内を見学し最後に質疑応答があり、受刑者の日常生活がわかり勉強になりました。

受刑者が刑期を終えて、復帰した時温かく迎えられる社会になっていることを願っています。

井組 禮子



神奈川県更生保護女性連盟

リーダー研修

平成 26 年 6 月 26 日（木）横浜開港記念会館でリーダー研修が行われました。知識を広め、地区更生保護女性会活動の活性化を図ることを目的とします。来賓の横浜保護観察所長西瀬戸様より挨拶

を頂き、講師に日蓮宗一華庵戸沢完充様の講演、テーマ「現代社会の一隅を照らす」でご自分の生い立ちから多くの女性の心の悩み、子育て、家庭、家族等苦しんでいる人達の聞き手として、駆け込み寺「サンガ天城」を創設し、苦しんでいる人たちへの救いの手をさしのべています。

石原 正子

横須賀刑務支所 施設研修



平成 26 年 8 月 21 日（木）保護司会・更生保護女性会の施設研修が行われました。

横須賀刑務支所は、明治 15 年久里浜に設立され、現在 130 名の犯罪傾向の進んでいない者が収容されています。その内 8 名は全国の米軍基地より集められ、米軍の管轄下におかれ、他の収容者と異なった扱いとなっています。刑務作業はプラ

スチック組立、石鹸製造を行っています。

松井 和子



愛のバザー

平成 26 年 11 月 3 日（月）青葉区民まつりが区役所の駐車場周辺で開催されました。平成 6 年の横浜市再編成に伴い青葉区は緑区より分割され、青葉区更生保護女性会が発足して 20 年がたちま

した。この会は会員の会費と関係団体からの助成金、愛のバザーの収益金で活動しているボランティア団体です。今年のバザーは、例年のお汁粉から会員の寄贈品の雑貨販売に変更し収益をあげることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

森 泰子



第64回 青葉区 「社会を明るくする運動」実施報告

ア ミニ集会

保護司、更生保護女性会、民生委員児童委員、自治会・町内会、PTA等が中心となって、町内会館、学校体育館等を利用し、計12回実施しました。非行防止、子育て、防犯、地域での声かけなど様々なテーマで懇談会や討論会を開催しました。

| No | 月 日 | 会 場 | 参加人数 |
|-----|-----------------------|-------------------|-------|
| 1 | 6月20日(金) 16:15~18:00 | あざみ野中学校 図書室 | 59名 |
| 2 | 7月1日(火) 14:45~16:00 | みたけ台中学校 体育館 | 148名 |
| 3 | 7月1日(火) 13:30~14:30 | みたけ台中学校 コミュニティハウス | 47名 |
| 4 | 7月4日(金) 15:00~17:00 | 山内中学校 コミュニティホール | 60名 |
| 5 | 7月6日(日) 10:00~13:00 | しらとり台自治会館 | 45名 |
| 6 | 7月7日(月) 15:00~16:00 | 青葉台中学校 3階教室 | 97名 |
| 7 | 7月7日(月) 15:00~16:00 | 青葉台中学校 4階教室 | 97名 |
| 8 | 7月7日(月) 14:30~16:30 | もえぎ野中学校 体育館 | 129名 |
| 9 | 7月22日(火) 14:00~16:00 | 美しが丘西小学校 | 70名 |
| 10 | 8月22日(金) 12:00~14:30 | 藤が丘地区センター | 73名 |
| 11 | 9月15日(月祝) 14:50~15:20 | 荻子田小学校 | 120名 |
| 12 | 9月29日(月) 14:45~15:00 | 桂小学校 | 67名 |
| 合 計 | | | 1012名 |

イ 青葉区内の各駅での駅頭宣伝活動

青葉区更生保護女性会会員を中心に次の3駅でキャンペーン活動を実施し、「社会を明るくする運動」標語入りのうちわ、ばんそうこう、リーフレット等を約1000セット配付しました。

実施駅 …… 市が尾駅、青葉台駅、あざみ野駅
実施日 …… 7月11日(金)

ウ ポスターの掲出

区庁舎、ふれあい青葉、学校等に、「社会を明るくする運動」ポスターを掲出しました。

エ 第64回“社会を明るくする運動”作文コンテスト実施

神奈川県推進委員会が実施する第64回“社会を明るくする運動”について、区内小中学校へ参加を呼びかけました。(また、参加賞として 図書カードを青葉保護司会より贈呈しました。) 参加者 285名(中学校 4校 小学校 10校)

入賞者

神奈川県公立小学校長会会長賞

村上 鴻 紀

(横浜市立あざみ野第一小学校5年)

平成26年度

受賞おめでとうございます

青葉保護司会

全国保護司連盟理事長表彰
関東地方更生保護委員会委員長表彰
関東地方保護司連盟会長表彰

高野 美智子
石渡 輝 男
豊浦 崇 男
野本 建 夫
山川 英 子

神奈川県知事感謝状
横浜保護観察所長感謝状

民間篤志家 関根 宏 一

横浜市長感謝顕彰

豊浦 崇 男
野本 建 夫

横浜市会議長感謝顕彰

高橋 英雄

横浜市保護司会協議会会長表彰

山内学小校

美しが丘東小学校

荻子田小学校

倉本 澄 夫

土志田 嘉

神奈川県社会福祉協議会功労者表彰

常世 和 子

青葉区社会福祉協議会会長表彰

石渡 輝 男

青葉区更生保護女性会

神奈川県更生保護女性連盟会長表彰

郡司 伸 子

平成

26年度

神奈川県更生保護女性連盟
会員研修

平成26年12月8日(月)横浜市開港記念会館において、会員研修が行われました。

平成26年度「愛の寄贈」が更生保護法人10団体に贈られ、そのあと拉致被害者の横田早紀江様の講演及びブロック研修実施報告、ミニ集会結果報告等が行われました。各地区の代表400人の出席者は、熱心に聞き入り、地区の活動に役立てたいと語っていました。

飯塚 秀子



社会を明るくする運動

平成26年7月11日(金)第64回青葉区社会を明るくする運動「駅頭キャンペーン」を田園都市線あざみ野駅、市が尾駅、青葉台駅で実施委員長の徳江区長を始め、連合自治会長、青葉警察署、青葉保護司会、青葉区更生保護女性会、そして各種関係団体の皆さんが一堂に集い電車やバスの乗降客、買い物や学校帰りの人達に犯罪や非行防止、振り込め詐欺や還付金詐欺の被害防止、又薬物依存や危険ドラッグ防止を、リーフレット、団扇、ボールペン等を配布し広く呼びかけました。

一人でも多くの皆さんにご理解を頂き「住んでよかった青葉区」を願いつつ終了しました。

高橋 薫



更生保護における安全・安心まちづくり 横浜第二ブロック研修

平成27年2月12日(木)に、表記の会が都筑区役所で開催されました。

神奈川県社会福祉士会山下会長の「地域定着支援センターの取り組み～高齢者・障害者等の矯正施設退所後の暮らしを支える～」についての講演

と「みんなちがってあたりまえ～知的障害・発達障害への理解～」について瀬谷区知的障害理解グループ(アントママ)の皆さんの発表がありました。都筑保護司会の活動紹介では、「中学生と共に取り組む紙芝居活動」が市立都田中学校の生徒達によって行なわれました。内容の充実した成果のある研修協議会でした。

鈴木 康正

青葉区 更生保護女性会会員研修

平成27年1月22日(木)「更生保護女性会について」の研修会がありました。講師に横浜保護観察所統括保護観察官 田中大輔様をお迎えして、福祉と更生保護女性会の共通点など、目の前に困っている人がいたら手をさしのべ、助ける、思いやり、優しさ、心くばりなどを地域で一体となり支援することの大切さを学びました。

小島 満寿江

横浜市更生保護女性会

Bブロック 研修会

平成26年11月6日(木)栄区公会堂にて研修会が行われ、講演は訪問の家、前理事長日浦美智江様の「みんな一緒に」と題して、体験談を話されました。重度の心身障害者のお世話をしながら一緒に社会参加を求めて、子供たちの無限の可能性、光と共に歩む社会に、人は人の中に生きて人となり、人として輝くなど心にしみる講演を聞かせて頂きました。 海山 幸子

久里浜少年院の成人式

平成27年1月15日(木)久里浜少年院の成人式が行われ、43名が成人しました。

お礼の言葉に「今まで色々な人を傷つけ、悲しませてしまいました。でも、まだ諦めてはいません。やり直せると信じています。これからは、責任ある行動をとり、悲しませた人達を喜ばせたいです。」

彼らを、“受け入れる社会”の必要性を強く感じるとともに、今後も“粘り強い活動”をしようと思います。

曾山 美穂

広報委員

青葉保護司会

高橋 薫
吉村 実千代
曾山 美穂

青葉区更生保護女性会

飯塚 秀子
岡村 悦子
土志田 花子
森 泰子
原 裕子